

平成31年度太宰府西中学校 ブロックコミュニティ・スクール設置要項

○ 平成28年度「市BCS推進の手引き（5月改訂）」及び平成30年度の総括に基づき、以下のとおり「平成31年度設置要項」を取り決め、実践の拡散・発展を図るものとする。

1 主 旨

太宰府市教育委員会が推進する「小中連携を活かした中学校ブロックコミュニティ・スクール」について、3校（太宰府西中・水城西小・太宰府西小）学校運営協議会の取組の拡充、発展、深化を期するため、平成28年度発足「西中ブロックコミュニティ・スクール」を継続・発展させる。

また、これまで本市が重点研究課題として推進してきた「小中連携」（小小連携）を取組の重点として組み込むものとする。

2 経緯及び重点課題の設定と共育目標・組織の名称

3校の運営協議会は、それぞれの学校・地域の特色や児童・生徒の実態等からコミュニティ・スクールを推進し、一定の成果を上げている。また、平成27年6月20日学校経営者会議で「共育目標・めざす児童生徒像・ブロック重点目標」の原案が作成され、平成27年8月19日CS3校合同研修会にて、学校・家庭・地域の各意見を生かし、ブロック重点目標として「あいさつの励行」と「感謝する心の発揚」が定められた。更に、平成29年8月2日西中ブロック学校運営協議会にて、「ブロック重点目標」に「学習意欲の向上」を付加した。

なお、取組の拡充、発展、深化については、市による地域コーディネーターの位置づけや予算、各学校運営協議会の進捗状況等の諸条件に合わせて、無理のない範囲でかつ積極的に行うものとする。

<名 称>

太宰府西中学校ブロックコミュニティ・スクール

※略称…西中ブロックコミュニティ・スクール、西中ブロックCS、西中BCS

<共育目標>

「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成」

<めざす児童生徒像>

○「**に**」っこり、あいさつができる子ども

○「**し**」っかり、学習ができる子ども

<ブロック重点目標>

○あいさつの励行…大人も子どももお互いにあいさつをしよう！

○感謝する心の発揚…お世話になっている人たちに感謝しよう！

○学習意欲の向上…学力向上に向けて努力を積み重ねよう！

3 組織・全体構想

最上位に「西中ブロック学校運営協議会」を置き3校の連携・協働を図るが、その間に、連絡・調整、具現化・実践化等を図る「西中ブロック協働本部（事務局会）」を置き、3校の学校運営協議会がスムーズに実践できるようにする。

(1) 太宰府西中学校ブロックコミュニティ・スクール全体構想図 /※別紙参照

○ 3校の各特色と、3校の「連携・協働」及び「小中連携・小小連携」をイメージして表示

○ 「全体構想」と「組織図」と「実践」までを1枚で表示

(2) 西中ブロック学校運営協議会

<協議会員>

○ 各学校運営協議会の委員…計45～60名

○ 各校の地域コーディネーター…計3名

<役割（業務内容）>

- 1 ブロックコミュニティ・スクール全体の組織運営、構想づくり、事業の企画・運営、評価等に関すること
 - 2 三者（3つの学校運営協議会）の連携・協働、及び、渉外に関すること
 - 3 三者（学校・家庭・地域）の連携・協働、及び、渉外に関すること
- (3) 西中ブロック協働本部（事務局会）

<部会員>

- 各校の地域コーディネーター…計3名
- 各学校のCS担当者 及び 校長が推薦する者…計3名～
- ※ 3校の教頭会及び地域コーディネーターが実働の指導・支援にあたる。

<役割（業務内容）>

- 1 西中ブロック学校運営協議会の庶務・会計、連絡・調整に関すること
- 2 西中ブロック学校運営協議会が示す構想や企画の具現化・実践化に関すること
- 3 三者（学校・家庭・地域）の「ひと・もの・こと」を生かした事業の企画立案と実践化に関すること

4 平成30年度の総括 ※ H31.1.30 西中ブロック協働本部（事務局会）から

1月30日に西中ブロック協働本部（事務局会）を開催し、平成30年度の取り組みのまとめと次年度に向けての改善点を話し合った。

1 平成30年度に実践できたこと

<にしの日・あいさつDAY>

本年度は、4月24日（火）、5月24日（木）、10月24日（水）、1月24日（木）の4回の実施をした。7：45～8：00

【太宰府西小】

- PTAからの発信で家庭や地域へのお知らせのプリント配布。
- 地域へは、公民館へのポスター掲示等での啓発。
- 児童計画委員会の5、6年生と校長と教諭が門の内側に並んで挨拶運動を行った。

【水城西小】

- にしの日に合わせて、あいさつを明るく元気に行うよう先生方を通して呼びかけた。
- 今後は相手や場に合わせて気持ちのよいあいさつが互いにできるように各クラスで指導をしていく。

【太宰府西中】

- 教諭と生徒が正門の外側に並んで挨拶運動を行った。生徒会活動の一環として行った。同時にピックアップ登校（登校中にゴミをひろう）を行い、地域の美化活動を行った。
- 生徒会・部活動の取り組みとして「立礼」をすすめていく。



写真1 門の前の挨拶運動（5月）



写真2 保護者・地域の方々（10月）



写真3 西中の生徒（1月）

<感謝表現活動>

【太宰府西小】

- 児童栽培委員会が球根を植えてから育てたチューリップを、校区内にある8つの自治会に贈呈した。日頃、様々な支援をいただいていることに対する感謝の気持ちを込めて、全校児童を代表して栽培委員会の5、6年生が各地区の自治会長へ手渡しをした。



写真4 贈呈の様子

【水城西小】

○全校としての取り組み

地域の方を中心に約50名の方を招待し、各教室にて子どもたちとふれあいながら給食時間を過ごした。

○学年ごとの取り組みについて

- ・4年生 総合学習にて2分の1成人式
- ・6年生 6年生感謝の会

○街角コミュニティ

6年生が5グループに分かれて地域の五つの公民館に行き、平和学習等、修学旅行で学んだことを発表するとともに、地域の方々と交流した。

【太宰府西中】

○5月12日にまほろば活動（地域清掃・避難訓練）を行った。

○夏祭りに、約200名が地域ボランティアとして参加することができた。

○餅つき大会に、約70名が地域ボランティアとして参加することができた。

○にしの日に、ピックアップ登校（登校時にゴミ拾いをする）を行った。

○全生徒を対象に「西中マスコット・キャラクター、スローガン」を公募した。学校運営協議会で決定後、CSの啓発活動に活用していく。



写真5 まほろば活動(地域清掃)



写真6 まほろば活動(避難訓練)



写真7 夏祭りボランティア

<学力向上及び人間関係づくりに係る実践・授業交流 等>

○3校合同研修会…7/31 プラムカルコアにて、西中ブロック学校運営協議会（3校職員も参観）、生徒指導に係る研修会(外部講師：福岡教育事務所)を開催した。また、人権教育に係る西中ブロックの「目指す子ども像・基本方針」を確認した。

○出前授業の実施…太宰府西小ー外国語の授業（2月21日に実施）
水城西小ー数学の授業（2月25日に実施）

【太宰府西小】

○家庭学習強調週間…中学校の定期考査の期間と合わせて、がんばりカードを使って、家庭学習についての自己評価をし、集約をした。

【水城西小】

○6年生 算数復習タイム 計3回 3時間 中学校に向けての基礎基本の学力保障。

○5年生 チャレンジアップ 計4回 4時間 学テ問題を通して活用力を身につけた。

○4・5・6年算数復習タイム 計3回 3時間 算数での既習内容の復習。

○家庭学習強化週間 中学校の定期考査に合わせて家庭学習の習慣化のための呼びかけ。

【太宰府西中】

○「学びの共同体理論」にベースに授業研究を進め、その成果を研究発表会にて発表した。

○人権・同和教育における人権学習や人間関係づくりに関する授業の相互参観や研究を進めた。

○年4回の各定期考査前に、2～3日の自主学習会（スタディ・タイム）を設定した。教科の難易度が上がり、受験前でもある3年生のみ教科別でスタディ・タイム（第2～3回）実施した。平均約70名の生徒が参加し、自主学習に励んだ。



写真8 教科別スタディタイム

2 成果・課題

<成果>

【太宰府西小】

○にしの日が保護者や地域の方々に広がっている。地域挨拶デーとしての意識が高まっている。

○地域の方々に支援をいただいた後、お礼の手紙などをお渡しするなどの感謝の気持ちも伝えている。

【水城西小】

○感謝表現活動では、「ふれあい給食」などで子どもたちが地域の方々とふれ合うことで、感謝の気持ちを具体的な行為で表すことの大切さを感じさせることができた。また街角コミュニティで、学びを地域の方に発表して交流することで、地域の方とふれ合う機会をつくることができた。

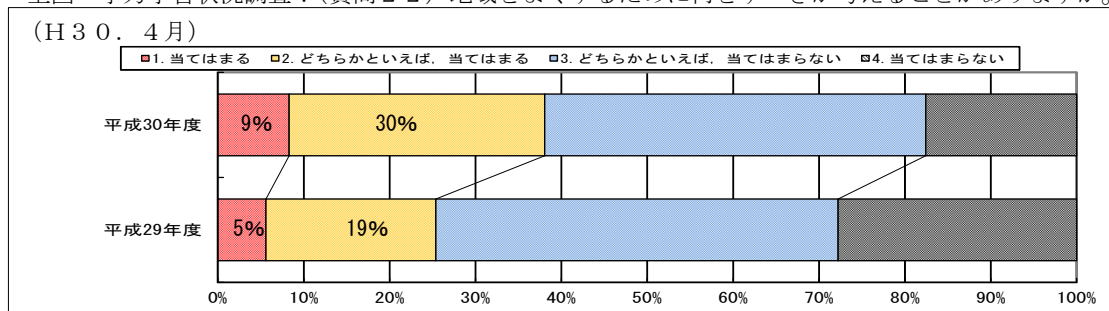
【太宰府西中】

○コミュニティ・スクールの運営が、学校運営協議会を中心に行われ、従来の活動に加え、本年度は、「まほろば活動（地域清掃・避難訓練）」「マスコットキャラクター、スローガン作成」が実践できた。

○教職員・PTA・地域がコミュニティ・スクールの効果を実感し、さらに推進しようとする意識が高まった。

○全国・学力学習状況調査や学校評価において、生徒の郷土貢献意識が伸びている結果が出ている。

全国・学力学習状況調査：（質問22）地域をよくするために何をすべきか考えることがありますか。



<課題>

【太宰府西小】

●挨拶運動などが活性化しているので、子どもたちの挨拶も元気にしていきたい。

【水城西小】

●「にしの日」の浸透を図るとともに、地域の人たちへの子どもたちの元気な挨拶をめざしたい。

【太宰府西中】

●より価値の高い取組になるよう「ソフト面」（取組内容・取組方法）の充実をさらに工夫していく必要がある。

3 地域コーディネーターから

【太宰府西小】

- ・カレンダーの記述について学校との打合せが必要だった。
- ・自治会へのあいさつまわりを行った。わざわざ時間を作ってくださった地域もあり、PTA主催の懇親会など活用していきたい。
- ・児童会のコミュニティ委員会に参加させてもらったが、地域行事など準備が必要だった。子ども達には地域でも様々なことにチャレンジしてもらいたい。
- ・西中の地域性により、地域コーディネーターは小中合同で活動したいと強く願う。

【水城西小】

- ・餅つき集会などは地域主導で行うことができた。集う地域の方がそれぞれの役目を自然におこなうことができるようになったので、打合せなどが少なくなった。また中学生なども数多く参加することができたので、これからも卒業生が集う場として活用できるようにしたい。
- ・百人一首大会は、地域の方と子ども達がふれ合う機会となったので、地域でも練習をするなど学校との取り組みをこれから考えていく。

【太宰府西中】

- ・前任者との引き継ぎや、学校との事前打ち合わせが不十分であった。最初は分からないことが多く戸惑ってしまった。
- ・自治会へのあいさつまわりを行った。また、まほろば活動、夏祭りボランティアや餅つきボランティアに関して自治会との打ち合わせを行った。その際、小学校の地域コーディネーターと一緒に回れたことはよかった。
- ・餅つき大会の日程が急遽変更になり、どこに連絡してよいか分からずに困った。学校・家庭・地域を結ぶ連絡システムの構築が必要である。
- ・小中の地域コーディネーターが連携・協働することは高い効果がある。

4 次年度に向けての改善点

<内容面>

【太宰府西小】

○地域コーディネーターとの打合せをさらに密にして、地域への呼びかけを広げる。

【水城西小】

○「地域から」と「地域へ」の視点を意識した教育活動を、さらに展開していく。その中で、小中や小小の連携を考えていきたい。

【太宰府西中】

○いじめ・不登校対策を、小中・地域・家庭がさらに連携して行う。

<組織運営面>

【太宰府西小】

○組織的に取組の改善を図れるようにしていきたい。

【水城西小】

○特にコミュニティの独自の組織はない。校務分掌と兼ねながら、負担のないようにする。

【太宰府西中】

○事務局会（主幹教諭・地域コーディネーター）を定期的を開催し、連携・協働した取り組みを進める。

5 基本的なスケジュール ※運営サイクルの目安

- | | |
|------|---|
| 4月 | 3校校長(新)による本案「設置要項」の審議 ※前年度に基づいて実践は継続中とする。 |
| 5～7月 | 3校、各々の学校運営協議会での本案「設置要項」審議 |
| 8月 | 西中ブロック学校運営協議会（第1回）…「設置要項」の承認・決定 |
| 9～1月 | 実践の拡充、発展、深化等、充実期 |
| 1～2月 | 西中ブロック協働本部会の開催…年度の総括 |
| 2～3月 | 3校校長による本案「設置要項」審議・原案づくり |